

和歌山県立医科大学生協 入学手続きでの説明会



[新学期]

取り組み概要

日時：2/13～3/15 の間で計13回
場所：和歌山県立医科大学
紀三井寺CP、三葛CP、伏虎CP
参加者数：入学者280名ほぼ全員に対応

概要：大学が主管する入学手続きが行われる日に、ブースを設置し、大学生協の説明を大学生協職員から行っていた。

一人ひとりに大学生協の強みを伝える

POINT.1

新入生一人ひとりに寄り添う



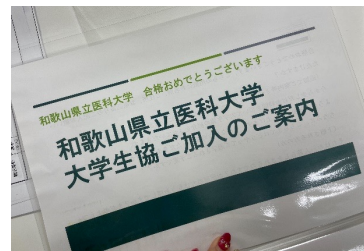
和歌山県立医科大学は、合格者が入学前に大学を訪れ、入学手続きを行っています。大学が主管する場を活用することで、入学生のほぼ100%に大学生協の案内・説明をすることができていました。

説明会に参加した新入生は、保護者の方と一緒に説明を聞き、気になることは質問をしながら、入学前の準備を行うことができていました。

POINT.2

紙芝居を用いて説明の質を確保

大学生協が行っているサービスや基本的なことの説明には、画像のような紙芝居が用いられていました。新入生・保護者の方に伝えるべき事項を、伝えたい意図のままに伝えられるように、説明する人の中で差が生まれないように、工夫されていました。



POINT.3

学生アルバイトもサポート



和歌山県立医科大学生協には、学生委員会が存在しません。新型コロナウイルス感染症の流行以前は、学生アルバイトを雇い新学期活動を行っていましたが、それも感染症の流行を境に止まっていました。今年度は、そんな学生アルバイト制度を復活。先輩学生から、生協のお気に入りのサービスや大学生活を送るうえで知っておいた方がよいことなどを教えてもらい、新入生が安心して大学生活をスタートさせられるような仕組みがつけられていました。

